



グリークラブ
大阪外国語大学
神戸商科大学
滋賀大学

第2回 合同演奏会

'74・6・23(SUN) PM2:00~ HIKONE SHIMIN KAIKAN 1stHALL

❖ メッセージ ❖

滋賀大学経済学部長 小倉 栄 一 郎

三大学とも昔から単科あるいは実質的単科で通してきた。そのジョイント・コンサートである。単科であるということは、それだけ苦勞が多いはずである。一千名余の学生総数の中から聞きごたえのある声の主をさがして一人前の編成をしなくてはならない。前回にはあいさつに代えて曲の解釈のむつかしさと学生の、しかも、名門の学生の知性なればこそ、よく克服できているという意味の賞讃の辞を呈しておいたが、今回は精一杯の努力力でもってコンサートをやり遂げる青年らしい熱意に声援をおくりたい。

学生は四年目に全員が入れ替わるけれども、毎年はかならず連続して伝統を形成してゆく、お互のグリークラブは連綿としてつづいてきたし、今後もその伝統を持ちつづけてゆくであろう。ジョイント・コンサートの第二回が古い町彦根で開かれ、昨年の壮業がめでたく受け継がれ、来年に送り伝える一駒となるのである。地元の滋賀大学としてその任務を痛感し、同時に伝承の意義をかみしめながら、盛会であることを祈念したい。

神戸商科大学学長 高 木 正 雄

本日は、滋賀大学・大阪外国語大学および神戸商科大学の各グリークラブが第2回ジョイント・コンサートを催しましたところようこそおこし下さいます、まことにありがとうございます。

合唱、特に男声合唱ではその繊細なハーモニーもさることながら、力一杯歌いあげるたくましさといったものが最も大切です。しかしこれは一朝一夕の練習とかあるいは1年や2年の経験では到底なしうるものではありません。不断のたゆまない発声練習や地道な努力の積み重ねなしには達成できませんが、なおその上合唱団の内側におけるメンタルハーモニーが底に流れていなければ、すばらしい曲も退屈な演奏になってしまいがちです。その点、本日演奏を共にする三大学はそれぞれ長い伝統を有し、部員相互間も強い絆で結ばれ濃度の高い音色を持っています。

本日、ステージにあがる100人のグリーンメンはこうした現実を踏まえて、さらに力強い一歩を踏み出し、今回のコンサートにおいても、各々の持ち味を十分に生かしたすばらしい演奏を聞かせてくれるでしょう。どうか皆様最後まで彼らに惜みない拍手をお送り下さいますよう、そして彼等にいっそうの激励を賜らんことを。

客演指揮者 稲 葉 祐 三

この頃、合唱会に、学生合唱団の沈滞の噂がしきりである。そう云えば確かに思い当たる節も多い。かつて、日本のアマチュア合唱界は、学生の若いエネルギーで支えられていた。しかし、時は移り、世の中は大変多様となり、若いエネルギーも色々の方向に分散を余儀なくさせられ、合唱に打ち込む人が少なくなってきたのかも知れない。しかし、合唱は時間つぶしにやるようなものでないことは勿論、少ない時をやりくりして費すに足るものである。

今回の三大学合同演奏会が、このような時の流れに、一つの楔を打ち込んでくれるのを期待し、この人達の合唱の輪が更に大きくなるよう、私も精一杯の棒を振りたいと思っている。

若い男の柔軟な軀と、鋭敏な感受性が、音楽ににじみ出るような、そんな演奏会であって欲しいと願っている。

(東海メール・クワイヤー指揮者)

■ プログラム

エール交換

I 「黒人霊歌」

- Wade In De Water
- This ol' hammer!
- De Animals a-Comin'
- Deep River
- Nobody knows de Trouble I See
- Didn't my Lord Deliver Daniel?

指揮：池田民樹

〔大阪外国語大学グリークラブ〕

II 「海のヴァリエーション」

- 日本海
- Bering Fantasy
- 海

草野心平：作詩
佐藤真：作曲

指揮：渡里芳郎

〔神戸商科大学グリークラブ〕

III 「蛙の歌」

- 小曲
- 亡霊
- 鰻と蛙
- 蛇祭り行進曲
- 秋の夜の会話

草野心平：作詩
南弘明：作曲

指揮：高山稔

〔滋賀大学グリークラブ〕

IV 「柳川風俗詩」

- 柳川
- 紺屋のおろく
- かきつばた
- 梅雨の晴れ間

北原白秋：作詩
多田武彦：作曲

客演指揮：稲葉祐三

〔合同演奏〕

■ クラブ 紹介

● 大阪外国語大学グリークラブ

僕達のクラブの創立は、大正15年5月で、その後戦争、学制改革等で解散を余儀なくされ、現在のクラブは昭和28年に再建された第3代目のものです。

クラブの誇るべきことはOBの数の多さといえ、作曲家として有名な清水脩氏もそのひとりです。異色の先輩としては、戦後一時混声として活動をしていたころのOGとして、評論家の俵萌子氏がおられます。

さて、今宵のステージの『黒人霊歌』は、僕達の最も得意とするところで、日頃外国語に囲まれて生活し、外国研究をする僕達にとってふさわしいものといえましょう。ただ近代マンネリ化の傾向も感じられますが、黒人霊歌について理解を深めるため、聖書にまで立ち戻って研究したり、英語科客員教授にアメリカ英語の発音指導を仰ぐなどして、脱皮をはかろうと努力しています。

● 神戸商科大学グリークラブ

午後1時ちょっと前、学校の正門横の、ボロボロの瓦屋根の下へ、ひとりの商大生が入ってきて、まばゆい初夏の陽がいっぱいにあたっている窓辺で、うす汚れたピアノをぎこちなく鳴らし始めます。ゼミの予習に疲れたのか、彼の目はとろんとして活気がありません。時々口にするメロディーは音がはずれていて、歌なのかどうかさえ判別し難いのです。たまに楽譜に「やさしく」とか「続けて歌う」とか書きこみますが、その後で歌う彼の歌はいっこうに「やさしく」などないのです。

そこへどかどかと入ってきた4人、彼のことなど振り向きもせず、麻雀の話に打ち興じています。彼のほうも知らぬ顔でピアノにとらめっこ。こんどは本を両手でかかえた男が5・6人、しかめっ面が入ってきてタバコを吹かし始めます。午後の光は明るく、ほの暗いこの部屋はどことなく雑然とした雰囲気包まれてゆきます。

そうこうするうちに、いろんな顔が30ほどこの部屋を埋めつくし、ガヤガヤと騒々しい限りですがやがて1時、指揮者のならすピアノのファンファーレで、神商大グリークラブが突如姿を現わし、さまざまな音色がまた、ほんの少しこの部屋のホコリを厚くしてゆくのです。

● 滋賀大学経済学部グリークラブ

滋賀大学正門をくぐると、グリーと共に歴史を歩んだ講堂が見えてきます。ここには諸先輩が各人各様の青春の思い出やハーモニーを残していったのです。そして静かな夕暮になると、どこからともなく、かつてのグリーの歌声が聞こえてきそうです。

現在の40余名のグリーメンも、それぞれ違った容姿・考え方を持っています。そして私達の声が一つとなって講堂に大反響を起こす時、私達はグリークラブに数々の思い出を見出すのです。そして何か充実した気持ちを感じながら練習をしていると、あっという間に6時30分が来てしまいます。練習が終わる6時30分、今までにぎやかだった講堂もグリーメンの歌声が幕を告げ、私達が満足して下宿に帰って行く時、講堂はオヤスミというように、灯を消していくのです。

未熟な演奏ながら、今日の私達のステージを最後までお聞き下さい。

■メンバー紹介

顧問 住田 照 男 (中国語学科主任教授)

ボイストレーナー 林 誠

•Top Tenor

•Second Tenor

•Baritone

•Bass

池田 民樹 (4.長野)
(指揮者)
○天野 卓也 (4.三河)
上田 哲也 (5.北野)
(副部長)
田宮 崇守 (3.八尾)
(海外)
高田 博行 (2.洛西)
藤井 一彦 (1.青木)

○松本 博 (4.八尾)
重富 勝巳 (3.阿倍野)
(会計)
今井 保男 (3.神代)
(副部長)
勝原 尚美 (3.河成)
(海外)
松尾 航一 (2.四本路)
仲 治美 (2.北橋北)
長井 竜月 (2.白旗)
池田 守 (1.大川)
五十嵐 強 (1.船谷二)

○堅田 和彦 (4.尾)
村上 幸造 (4.三河)
佐伯 益男 (3.藤原)
片山 誠也 (2.正名)
清水 計宏 (2.浜松西)
田中 敬一 (2.豊中)
桑田 明広 (1.広大附属岡山)
楠本 隆志 (1.都立)
中村 一実 (1.大手前)

○榊井 一仁 (4.天王寺)
(部長)
藤田 勉 (4.市川)
橋本 和直 (4.岩内)
加藤 弘之 (1.明和)
白木 正司 (1.大垣北)
辻 陽一 (1.大阪外大)

名誉顧問 山本 英一 名誉教授 顧問 渡部 浩太郎 教授 ボイストレーナー 広岡 隆正

•Top Tenor

•Second Tenor

•Baritone

•Bass

亀井 義男 (4.兵庫)
○松本 康一郎 (3.桃山学院)
秦野 卓也 (3.桐蔭)
(会計)
高橋 正治 (2.白旗)
橋本 秀樹 (2.甲陽学院)
岩崎 和行 (2.花崎北)
安本 直己 (1.堀江)
増井 俊雄 (1.姫路東)

荒木 敏行 (4.舞鶴)
○佐藤 克裕 (3.六甲学院)
(海外)
中山 唯員 (3.兵庫)
(マネージャー)
竹下 利夫 (3.兵庫)
(副部長)
高井 宏昌 (3.舞合)
木谷 雄二 (2.東淀川)
上田 茂樹 (2.姫路西)
永井 洋 (2.三木)

○船江 秀行 (4.加古川東)
(マネージャー)
松田 享 (3.米子東)
(マネージャー)
石元 恵夫 (3.高知学院)
(チーフマネージャー)
足立 陽三 (3.高砂)
(マネージャー)
平山 泰行 (2.神戸高専)
森田 和昭 (1.桐蔭)
上村 卓史 (1.報徳学院)

渡里 芳郎 (4.北北)
(指揮者)
○中村 浩 (3.小樽南校)
(副指揮者)
前田 隆佐 (3.上尾)
(部長)
今井 一史 (3.四本路)
(マネージャー)
角田 義満 (3.阿倍野)
(海外)
西谷 英一 (2.尾崎北)
松下 克己 (1.佐賀保来)

顧問 小林 健吾 教授

講師 水谷 俊二

•Top Tenor

•Second Tenor

•Baritone

•Bass

坂本 時雄 (4.東舞鶴)
湧川 勝己 (3.青森)
(指揮者)
大迫 恭生 (3.兵庫)
(文芸部)
○古橋 恵介 (3.浜松北)
(会計)
岩井 和彦 (2.長野)
川久 保勉 (2.長野)
北島 重幸 (2.鶴田南)
小林 博 (2.松本深志)
宮内 嘉明 (1.豊中)
坂本 雅一 (1.伊丹)
京極 政好 (1.浜松西)
山口 淳之 (1.新潟)

住山 英一 (4.長野)
山内 佳紀 (4.白旗)
吉田 武 (4.高津)
○岩間 勉 (3.名古屋西)
(ステージマネージャー)
橋井 敏之 (3.飯田)
(合唱委員長)
田中 広明 (3.名古屋西)
(副部長)
香山 隆 (2.山城)
平松 誠一 (2.名古屋西)
大島 純司 (1.長崎北)
清水 聖士 (1.浜松北)
立石 長生 (1.津山)

高山 稔 (4.桂)
(指揮者)
三輪 直樹 (4.東海)
木村 正文 (4.長良)
米沢 正治 (3.東海)
(部長)
中村 正規 (3.名古屋西)
(ステージマネージャー)
○岸本 淳 (3.武生)
(海外)
鈴木 安則 (2.甲賀)
垣尾 正雄 (2.山城)
賀戸 靖彦 (1.城南)
高田 英資 (1.国府)
山本 寛 (1.伊丹)

○奥村 淳一 (3.名古屋西)
(部長)
田中正彦 (3.彦根東)
(副指揮者)
井上 郁男 (3.瀬田川)
(海外)
広部 義治 (2.藤島)
徳岡 重信 (1.岐阜)
福田 茂 (1.津山)
牧 伸夫 (1.松崎)
白崎 滋 (1.藤島)



世界の道を知っている

ブリヂストンタイヤ株式会社

彦根工場

滋賀県彦根市高宮町211番地

TEL. (07492) ②-8111

しあわせに輝くこの日このとき……
永遠の愛を誓う



生涯、最良の日
祝福の杯のなかで
いま、
いちばん幸せなお二人。
豪華な料理と
洗練されたサービス。
ここ、
近江プラザホテルに
広げられる
華麗なうたげ。

秋の挙式予約受付中

挙式お申し込みは、毎日午前9時より
午後8時まで、日祝日も受付致してお
ります。

※御一報次第係員がお伺い致します。

政府登録/国宝彦根城のほとり

近江プラザホテル

彦根市松原町1911 〒522
TEL (07492) 2-8101